

經 過 報 告

令和4年2月3日

鳥栖・三養基西部環境施設組合

事業報告（令和3年7月～12月）

1 搬入ごみについて

令和3年7月～12月の市町搬入量は、総計17,478トン（可燃14,274 不燃粗大2,228 資源976）で、前年比較では165トンの減少（鳥栖市 △110 上峰町 20 みやき町 △75）となりました。また、事業系の可燃ごみが増加し、直接搬入による不燃・粗大ごみが減少しました。

■種類別地区別搬入ごみ量

（単位トン）

	鳥栖市			上峰町			みやき町		
	可燃	不燃・粗大	資源	可燃	不燃・粗大	資源	可燃	不燃・粗大	資源
7月	1,773.70	190.85	106.33	175.96	32.12	15.29	484.12	98.92	34.33
8月	1,834.58	184.70	118.39	185.19	34.08	14.33	489.73	106.82	31.58
9月	1,727.98	241.76	116.35	163.08	35.81	15.34	433.04	141.00	32.85
10月	1,661.71	220.62	108.30	162.29	41.23	14.64	418.35	123.07	33.43
11月	1,743.56	188.93	101.91	174.19	39.28	13.11	453.13	109.07	31.22
12月	1,773.07	258.75	141.89	177.82	45.63	15.43	442.57	135.19	31.86
計	10,514.60	1,285.61	693.17	1,038.53	228.15	88.14	2,720.94	714.07	195.27

2 溶融資源化センターについて

令和3年7月～12月のごみ溶融量は16,868トンで溶融スラグ1,255トンを資源化物として回収しました。形態別では1炉操業81日、2炉操業94日となりました。

また、10月20日～24日に共通系設備の定期整備を実施しました。

なお、エネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量は5,533トン-CO2です。

■溶融炉月別操業状況

（単位トン）

	処理量			スラグ量	CO2 排出量	備考
	1号炉	2号炉	計			
7月	1,210.54	1,684.93	2,895.47	191.77	921	
8月	1,780.78	1,719.96	3,500.74	145.38	1,089	
9月	1,059.26	1,986.86	3,046.12	148.98	987	
10月	1,740.46	0	1,740.46	330.78	620	10/20～24 共通系設備定期整備
11月	1,958.00	1,204.75	3,162.75	153.12	990	
12月	1,288.28	1,233.70	2,521.98	285.04	926	
計	9,037.32	7,830.20	16,867.52	1,255.07	5,533	

*スラグ量は、排出ベース CO2排出量は、エネルギー使用に伴うもの（電気、LPG）

3 リサイクルプラザについて

令和3年7月～12月のごみ処理量は3,204トンで、主な資源化物として金属類346トン、紙類442トン、びん類224トン、ペットボトル85トン、その他プラスチック類54トン、小型家電23トンを回収し、選別残渣1,970トンを溶融資源化センターで処理しました。また、プラザ棟に設置したリサイクルコーナーでは、資源ごみ4.4トンを回収しました。

■資源化物の搬出状況

(単位トン)

	金属類	紙類	古布	びん	プラスチック類			小型家電	計
					PET	その他	白トレイ		
7月	49.67	82.47	10.07	36.09	18.19	6.91	0.21	1.79	205.40
8月	53.95	61.69	4.35	25.21	12.33	13.61	0.26	4.88	176.28
9月	46.89	72.01	4.16	49.57	18.81	6.40	0.40	4.60	202.84
10月	76.56	73.23	8.60	49.84	12.37	13.38	0.21	2.09	236.28
11月	47.83	66.95	11.43	27.33	11.78	6.67	0.39	5.12	177.50
12月	70.71	85.81	5.28	35.80	11.30	6.56	0.21	4.64	220.31
計	345.61	442.16	43.89	223.84	84.78	53.53	1.68	23.12	1,218.61

4 環境保全について

環境保全協定に基づき、令和3年11月25日に連絡協議会を開催し、令和3年度の環境測定結果中間報告及び令和4年度の環境測定実施計画について説明しました。併せてリサイクルプラザ処理棟の現地確認を行いました。

また、令和4年1月12日～20日に環境中の大気測定および1月17日～18日に溶融資源化センターの排ガス測定、騒音・振動測定、悪臭測定等を実施しました。



リサプラ処理棟現地確認



環境中の大気測定

5 啓発事業について

令和3年7月～令和3年12月に以下の事業を実施しました。

■事業別利用者一覧表

項 目	利用月日	内 容	利用者数
視察研修等	7/5	中原小学校4年生	75
	7/10	Uネット佐賀東部EM勉強会	5
	9/11	Uネット佐賀東部EM勉強会	5
	10/9	Uネット佐賀東部EM勉強会	5
	10/14	基里小学校4年生	62
	10/15	弥生が丘小学校4年生	139
	10/21	旭小学校4年生	149
	10/22	麓小学校4年生	103
	10/29	鳥栖北小学校4年生	134
	11/2	鳥栖小学校4年生	120
	11/2	田代小学校4年生	71
	11/13	Uネット佐賀東部EM勉強会	5
	イベント等 (毎月1日～12日)	7月	もったいなか市
8月		もったいなか市	145
9月		もったいなか市	141
10月		もったいなか市	178
11月		もったいなか市	214
12月		もったいなか市	201
11/8～20		菊花展示会	130



もったいなか市



菊花展示会

6 安全管理について

溶融資源化センター及びリサイクルプラザでは日常的な安全管理のために、毎月1回安全パトロール及び安全衛生協議会を実施しました。

また、一般廃棄物処理施設の安心安全を維持していくため各種訓練を実施しました。

■溶融資源化センター総合防災訓練

・令和3年7月14日

現実的に起こり得る災害事例を想定して、安全にかつ効率的に行動すべき具体的内容について訓練し、問題点を明確にすることで今後の災害に備えることを目的としました。今回のテーマは、大規模地震および大型台風等の自然災害による被害を想定した処置や救出訓練を実施しました。

・令和3年12月8日

本年7月の訓練に引き続き、現実的に起こり得る災害事例を想定して、安全にかつ効率的に行動すべき具体的内容について訓練しました。今回のテーマは、溶融資源化センター乾燥ごみラインでの火災事故を想定した対応や処置の訓練を実施しました。

■リサイクルプラザ自衛消防訓練

・令和3年11月25日

啓発施設であるリサイクルプラザでは、火災発生時に適切な対応をするため、初期火災消火、関係各所への通報、避難誘導訓練を実施しました。



11月25日リサイクルプラザ



12月8日溶融資源化センター

7 災害廃棄物等の受入れについて

4月15日の長崎県大村市環境センターの火災による業務停止に伴い、4月～6月に引き続き8月に10.20トンの一般廃棄物（可燃ごみ）の受入れを行いました。

また、令和3年8月佐賀県豪雨により発生した災害廃棄物の応援処理に伴い、大町町より8月から12月まで179.57トン災害廃棄物（可燃ごみ）の受入れを行いました。